



▲子どもたちの想像力に圧倒されました
8月18日、ダイエー綾瀬店でボランティアサークル「ちくちくの会」の「布絵本、布おもちゃで遊ぼう」が開催され、準備や受け付け、子どもたちと一緒に遊ぶボランティア活動を高校生が体験しました。高校生たちは子どもたちの想像力に圧倒されたり、布絵本の素晴らしさに感動していました。
【福島 順一】



▲そうめん流しと竹筒でのご飯炊きに大喜び
8月24日、落合キツツキの森管理委員会主催のサマーフェスティバルがあり、子どもと大人、スタッフ総勢40余人が参加しました。いろんな遊びの後は、待望のそうめん流し。最初は流れるそうめんを取れなかった子も、次第に慣れ、おいしそうに食べました。竹筒のご飯炊きでは、子どもたちは炊き上がった様子に、お母さんたちは味と香りに驚いていました。
【福島 順一】



▲親子キャンプ
8月31日～9月1日、風車公園運動場で、寺尾綾北、大上の子ども会が合同で親子キャンプを実施しました。子どもたちの健全な育成を目的としたものです。約150人の親子が、キャンプファイヤーで楽しい夜を過ごしました。
【吉江 旭】



▲蓼川神社恒例の祭りが行われました
蓼川神社恒例の祭りが、9月8日に行われました。近隣の担ぎ手も大勢参加し、神輿が町中を練り歩き、子ども神輿も参加し夕方無事に宮入し、夜は納涼祭で盛り上がり楽しい秋の一日が過ぎました。
【大滝 隆司】



▲書道パフォーマンスの鮮やかさ
8月24日の綾瀬いきいき祭りで、未来につながる一こまがありました。城山中学校吹奏楽部と書道パフォーマンス「RACKY3」のコラボレーションイベントで、特大紙に星空のイメージと「つなごう未来へ 綾瀬 緑と文化のかおるふれあいのまち」と大筆でしっかり、力強く、鮮やかに描き上げました。
【情報提供・馬場正勝さん(深谷中)】



▲引き渡し訓練が行われました
9月2日、綾北小学校で、同日11時に震度5弱以上の地震が発生したことを想定した全校生360人の引渡し訓練が行われました。先生の指導の下グラウンドに避難した児童たちは、保護者に引き渡され、家路を急ぎました。訓練は整然と行われていました。
【吉江 旭】

◀地球照が綺麗でした
新月の直前直後は地球照が見られます。月の明るく輝いている部分は太陽に照らされている部分で、ぼんやりと丸く見える部分は地球の照り返しで光っています。夜明け前の東の空に浮かぶ地球照の月が綺麗でした。9月3日、綾西にて。
【段木 武】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲ハリスホークやワシと触れ合う
8月24日の綾瀬いきいき祭りで、日々、春日原の一角でハリスホークの訓練をしているブラジル人で鷹匠のソアレス・エドアルドさんが、めったに見ることができないハリスホークやワシを披露していました。子どもたちは、こわごわと触り、珍しい体験をしました。
【高橋 元】



▲「親子で一日消防士」を実施しました
8月25日、消防本部で小学校高学年の児童と保護者が消防士の訓練を体験しました。参加した16組の親子は、消防長から一日消防士の任命証を交付されると真剣なまなざしになり、体力訓練や救助訓練、はしご車の体験搭乗などを行いました。終了後には、消防職員手作りのカレーライスと一緒に食べ、厳しくも楽しい一日を締めくくりました。



▲市内の養鶏農家が卵を対面販売
9月4日、市役所内の喫茶室で、綾瀬産の卵の良さをPRしようと、市内3軒の生産者が対面販売を行いました。各生産者の卵を選んでパックに詰められるとあって、生産者に特徴を聞きながら購入していました。用意した約1000個の卵は3時間で完売となる人気でした。